

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名		外国語指導助手の指導力等向上のための取組		担当部局庁		初等中等教育局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度		平成23年度		担当課室		国際教育課外国語教育推進室		外国語教育推進室長 渡邊 倫子	
会計区分		一般会計		施策名		Ⅱ-1 確かな学力の育成			
根拠法令 (具体的な条項も記載)		-		関係する計画、通知等		中央教育審議会答申(平成20年1月) 教育振興基本計画(平成20年7月1日 閣議決定) 小学校学習指導要領(平成20年3月28日 文部科学省告示) 中学校学習指導要領(平成20年3月28日 文部科学省告示)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		小・中・高等学校の新しい学習指導要領の円滑な実施に向け、学校現場では従来の指導の在り方を変革する必要がある。とりわけ、活発な言語活動の推進に資する外国語指導助手(ALT)の活用は重要であるため、「語学指導等を行う外国青年招致事業」(JETプログラム)によるALTを対象に、外国語によるコミュニケーション能力を高める授業づくりに重点をおいた研修を実施し、ALTの指導力等の向上を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)		研修の実施主体である都道府県・指定都市教育委員会が、概ね5日間程度の日程で、新学習指導要領の円滑な実施や服務・規律の徹底を図るための研修を行う。例えば、研修内容としては以下のものが考えられる。 ・コミュニケーションに対する積極的な態度を育てたりコミュニケーション能力を養ったりするための、効果的な指導計画や指導方法について ・効果的なチームティーチングの在り方 ・地域に根ざした国際理解教育や国際交流について							
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		予算 の 状況	当初予算				8.2	8.2	
			補正予算				0		
			繰越し等				0		
			計				8.2	8.2	
		執行額							
執行率(%)									
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標		成果実績	単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
		外国語指導助手の指導力等向上研修への参加率			%				100
		達成度		%					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
		外国語指導助手の指導力等向上研修を実施した自治体(道府県等教育委員会・指定都市教育委員会)の数		活動実績 (当初見込み) か所	-	-	-	() (47)	
単位当たりコスト		173,489(円/か所)		算出根拠	平成23年度予算額(8,154,000円)/平成23年度活動見込か所数(47か所)				
平成23・24年度予算内訳	費目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金		2.5百万円	2.5百万円					
	職員旅費・委員等旅費		3.8百万円	3.8百万円					
	教職員研修費		1.9百万円	1.9百万円					
計		8.2百万円	8.2百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	限られた予算で最大限の効果が発揮できるよう、事業の緊急性や必要性の観点から効果的な事業実施を図ることとしており、今後も適正な事業執行に努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
<p>本事業は、執行面における課題もなく、事業の成果目標も立てられていることから、適切な事業と認められる。</p>			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>平成21年度、行政刷新会議の事業仕分けにより、ALTの研修事業である「中間期研修」を含む「英語教育改革総合プラン」が廃止との評価を受け、同プランを平成22年度限りで廃止とした。一方、新学習指導要領の円滑な実施を図る上でALTの指導力等の向上を図る必要性に鑑み、平成23年度より、新たな取組として、「外国語指導助手の指導力等向上のための取組」を実施することとした。</p>			

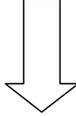
※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

文部科学省
8.2百万円

職員旅費 0.1百万円を含む

※表示単位未満四捨五入の関係で、職員旅費と委嘱経費の合計は、全体の金額と一致しない。

「語学指導等を行う外国青年招致事業」による外国語指導助手に対して、外国語によるコミュニケーション能力を高める授業づくりに重点をおいた研修を都道府県において行う。



【委嘱】

A. 都道府県教育委員会 全47機関
8.0百万円

概ね5日間程度の日程で、新学習指導要領の円滑な実施や服務・規律の徹底を図るための研修を実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A.都道府県教育委員会 全47機関			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金	研修講師謝金	2.5			
委員等旅費	研修講師旅費	3.6			
教職員研修費	研修資料作成および通信運搬費	1.9			
計		8.0	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)